

アンカー変位の判定

工事名	五大地区急傾斜面防止工事
試験名	適性試験
アンカー名称	A-1
テンドン種別	SHS永久アンカー (S5-4)

1. 判定条件

変位量による判定は、計画最大荷重時における荷重保持時での判定を行う。この試験において、測定時間のNo. 1 (ta : 1分後) ~ No. 4 (tb : 60分後)間のアンカーの変位量での判定を行った。

2. アンカーの変位

ta = 1 分後の変位量は、sa = 0.01 (mm)

tb = 60 分後の変位量は、sb = 0.04 (mm)

tb / ta = 60.0 ≥ 3.0 より、

$$\begin{aligned}
 \text{アンカー変位 } \Delta_s &= sb - sa \\
 &= 0.04 - 0.01 \\
 &= 0.03 \text{ (mm)}
 \end{aligned}$$

よって、ta ~ tb (1分 ~ 60分)の間で、

アンカー変位 Δ_s が 0.03 ≤ 0.50 (mm) より、
適性とする。

◆計画最大荷重時の変位量◆

	測定時間(分)	変位量(mm)
初期	0	0.00
1	1	0.01
2	10	0.02
3	20	0.03
4	60	0.04
5		
6		
7		
8		
9		
10		

